

大平地域包括支援センター 担当

日 時： 令和7年11月19日（水）午後1時30分～午後2時00分

開催方法： 栃木市役所大平総合支所 第3会議室

事例数： 1 ケース

参加者数： 12 名

事例提供者 1 名、助言者 5 名、サービス事業者 1 名
包括職員 2 名、傍聴者 1 名

認知症が進行し、家族の介護負担軽減が必要な84歳男性

〈目標〉1日:今日の日付や曜日の確認をする。

1年:毎日の日課が把握できる。

利用サービス:介護予防通所サービス

《生活全般の解決すべき課題》

- ・ 一人で外出することがなく、自宅においてもほぼ自発動作がない。
- ・ 認知症による理解力の低下や意欲の低下が見られている。
- ・ 妻の介護負担軽減を図る必要がある。

《助言者からの助言内容》

- ・ 自宅で正しく歯を磨けているか確認し、定期的に歯科医院受診を続ける。
- ・ メマンチン塩酸塩は副作用でふらつきがあるので転倒に気をつける。
- ・ 心配されている嚥下機能の低下に対するセルフトレーニングを妻と一緒に行うと良い。
- ・ 認知症の方に対する日常生活上の工夫について、資料を参考に日常生活に活かせると良い。
- ・ 本人がしてみたい庭の掃除などで何か役割が持てるようになると良い。
- ・ 物忘れの対策として、自分の名前の認識があれば、本人が日常生活で使用するものに本人の名前を表記しておく。
- ・ 甘い物や果物、イモ類糖質中心の生活だと脂質異常症になりやすい。おやつや果物を控えると良い。
- ・ 人とコミュニケーションをとることを継続するために、難聴の程度を把握すると良い。定期的に医療機関へ受診し聴力検査を行うと良い。
- ・ オレンジカフェは認知症に理解のある方がスタッフとして参加しているため、本人一人でも参加できることを情報提供する。



認知症による失行や失認の進行に備え、本人の支援及び妻の介護負担軽減を図る。

☆地域課題（地域に不足、再構築を図りたい支援・サービス等）

認知症の人と家族の支援体制（オレンジカフェや認知症サポーター等）の周知や支援体制構築の推進が必要である。